

当資料は当店 web サイトに掲載しています
<http://www3.boj.or.jp/shimonoseki/>

BOJ Shimonoseki



山口県金融・経済レポート

NHK大河ドラマ「花燃ゆ」の放映および 世界遺産の登録に伴う経済波及効果

NO. 36

2016年2月

日本銀行下関支店

本ペーパーは、松田玲が作成しました。

内容に関する照会は、日本銀行下関支店総務課・田嶋治久、松田玲、松本洗

(Tel : 083-233-3113、E-mail : shimonoseki@boj.or.jp)までお寄せ下さい。



1. 経済波及効果の概要

NHK 大河ドラマ「花燃ゆ」の放映や、萩市の「明治日本の産業革命遺産」の5つの史跡が世界遺産に登録されたことにより、2015年に山口県を訪れた観光客は大幅に増加した。その増加人数は、**約149万人**と推計され、観光客の増加に伴う県内への経済波及効果は、**約138億円***と推計される。

—— 経済波及効果は県内総生産（5.8兆円<2013年度>）の約0.23%に相当。

▽経済波及効果の推計結果

観光客 延べ増加数	経済波及効果	直接効果 ^(注)	間接効果 ^(注)
	138億円	87億円	51億円

(注) 直接効果：当地に訪れた観光客によってもたらされる直接支出額

間接効果：直接支出によって県内産業にもたらされる生産誘発額、および、これにより生じた雇用者所得の増加分が消費に向けられることによって県内産業にもたらされる生産誘発額の合計

県内では、2016年以降も、2018年の明治維新150年に向けた様々なイベントが予定されているほか、「萩・世界遺産ビジターセンター学び舎(まなびーや)」がオープンするなど、世界遺産をさらにPRするための体制づくりが進んでいる。また、広域地域連携の動きや無料Wi-Fiスポットの増設など外国人観光客を迎える取り組みも進みつつある。NHK大河ドラマの放映等を契機として、こうした取り組みが国内外からの観光客を増加させ、地域の更なる活性化に繋がることを期待したい。

2. 推計方法

まず、観光客の増加人数を、県内・県外別に日帰り客・宿泊客に分けて推計し、この増加人数に一人当たり観光消費額を乗じることで需要増加額を算出した。その後で、需要増加額を産業別に振り分け、「平成17年山口県産業連関表分析ツール」を用いて直接効果と波及効果(間接効果)を算出した。

(1) 観光客増加数の推計

観光客の増加人数(149万人)は、県内各エリアをNHK大河ドラマ等との関係の度合いに応じてカテゴリー分けしたうえで、当店の独自調査¹によって得られた日帰り客および宿泊客の増加率を前年の観光客実績(「山口県観光客動態調査」(平成26年))に乗じて算出した。

推計結果をみると、日帰り客については、県内客が50万人、県外客が76万人、合計で126万人増加(2014年の5.1%に相当)した。また、宿泊客については、県内客が8万人、県外客が15万人、合計で23万人増加(同5.1%)した。

▽観光客増加数の推計結果 (延べ人数、万人)

	合計	宿泊客 ^(注)	日帰り客
県内客	58	8	50
県外客	91	15	76
合計	149	23	126

(参考)

2014年の観光客数	2,900	449	2,451
------------	-------	-----	-------

(出所) 山口県「山口県観光客動態調査」(平成26年)

(注) 宿泊客の増加数の推計にあたっては、2015年10月に山口県内各地で開催された第28回全国健康福祉祭やまぐち大会(通称:ねんりんピックおいでませ!山口2015)に伴う増加数を推計した上で控除した。

地域別にみると、日帰り客については、NHK大河ドラマの主要舞台であると共に、萩反射炉や松下村塾を含む5つの史跡が世界遺産に登録された萩市を始め、山口市、防府市、美祢市、下関市など、県内の幅広い地域で増加したとみ

¹ 日本銀行下関支店では、NHK大河ドラマの放映や世界遺産の登録と関係が深いと思われる先(NHK大河ドラマ関連施設、観光施設、宿泊施設、自治体、組合等)に独自にヒアリング調査を実施した。なお、その際には、学会の開催など大河ドラマの放映や世界遺産の登録と関係性が低いイベントに伴う宿泊客の増加分は、可能な範囲で除外して回答してもらった。

られる。一方、宿泊客については、萩市のほか、周辺の山口市（湯田温泉など）や長門市（長門湯本温泉など）、観光地として知名度の高い下関市などを中心に増加したとみられる。

（２）観光消費額の推計

一人当たり観光消費額は、観光庁「共通基準による観光入込客統計」（平成 26 年）の金額をそのまま用いた。

▽一人当たり観光消費額（山口県）

宿泊客		日帰り客	
県内客	県外客	県内客	県外客
25,885 円	26,352 円	3,503 円	6,693 円

（出所）観光庁「共通基準による観光入込客統計」（平成 26 年）

（３）経済波及効果の留意点

ここでの経済波及効果とは、観光客によって支出された直接効果と、その波及である間接効果の合計である。直接効果には、交通費、宿泊費、飲食代、土産代等が含まれている。間接効果には、直接効果で必要とされる財およびサービスが生産されるときに、必要となる原材料等の購入によって県内産業にもたらされる生産誘発額と、直接効果や 1 次波及効果によって生じた雇用者所得の増加が、消費に向けられることにより県内産業にもたらされる生産誘発額が含まれる。一方、観光客の増加に伴うインフラ整備費（道路の整備、観光施設の建設・修繕費用等）やその波及効果は含まれない。

また、今回の試算は、2015 年の観光客の増加がもたらす 1 年間の影響のみを考慮しており、中長期的な経済波及効果は含まれない。

以上のように、本推計は様々な仮定に基づいて算出されており、結果についてはある程度幅を持ってみる必要がある。

以 上